



里山ガーデンフェスタ

昨年度「全国都市緑化よこはまフェア」も引き続き、横浜では、花と緑を愛する人の心をつなぎ、自然環境を育む横浜市の取り組み「ガーデンネットワーク横浜 2018」をH30年9月15日～10月14日まで「里山ガーデンフェスタ」と題して開催し、多くの方に緑あふれる横浜をアピールしました。



みどりアップを見に行こうツアー(調査部会)を開催しました!

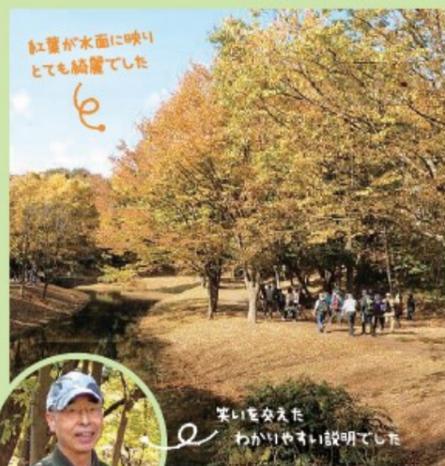
市民推進会議では委員が現場を見に行く調査部会を毎年行っています。今年も「みどりアップを見に行こうツアー」と題し、一般参加者と一緒に森づくりの取組などの現場を見に行きました。今回は都筑区の、公園と公園が緑道でつながった緑あふれる街並みを巡り、愛護会や森づくり活動団体の方々、現場を維持管理する市の職員の生の声を聞きました。



樹木を一度伐採して再び芽吹かせる「萌芽更新」を行った斜面地を視察する様子(茅ヶ崎公園)

- 日時** 平成29年11月11日(土) 9時～12時
- 参加者** 一般参加者8人
横浜みどりアップ計画市民推進会議委員9人
- コース** 横浜市営地下鉄ブルーライン「仲町台駅」～茅ヶ崎公園～メゾンふじのき台～大原みねみち公園～ささぶねのみち～都筑区役所にて意見交換会

緑道をウォーキングする様子



メゾンふじのき台で説明して下さった住民代表の渡辺さん

視察内容

茅ヶ崎公園 「樹林地保全管理計画」を活用した森の育成の現場

市民の皆様にとって身近な緑である公園の中にも森があります。みどりアップ計画ではこうした公園の中の森の質を高める取組も行っています。公園愛護会の方へ実際の活動のお話を聞きながら、身近な公園で質の高い緑を実感しました。

メゾンふじのき台 森づくりアドバイザーの派遣を活用して維持管理する現場

メゾンふじのき台保存緑地は、横浜市と協定を結び、団地の住民が維持管理をしています。住民の代表の方のわかりやすい解説で、みどりアップ計画を活用し、工夫しながら丁寧な管理をされていることがわかりました。

ささぶねのみち・大原みねみち公園 森づくりガイドラインを活用した森の育成の現場

整備から20年以上経過し、当初に植えられた樹木が大きく成長しすぎて、道が暗くなったり、樹木が混みあって健全な育成ができなくなっているため、これから手入れをする現場を視察し、維持管理の必要性を感じました。



横浜には、歴史のなかで育まれてきた都心臨海部の緑豊かな街並み、樹林地や農地で構成される郊外の里山など、豊かな緑の環境が存在します。一方で、横浜の緑の量は、都市化とともに大きく減少してきました。そこで、市では「緑豊かな横浜を次世代に」引き継ぐため、平成21年度から、「横浜みどりアップ計画」に基づき、緑の減少に歯止めをかける取組や、市街地における緑の創出を進めています。今年度で2期目が終了します。今後については「これからの緑の取り組み [2019-2023]」の原案を策定し、検討を進めています。

事業内容・取組状況

事業内容



みどりアップって何?ということがら
「みどりアップを見に行こうツアー」が開催されて
「横浜みどりアップ計画市民推進会議」という
市民の方々(有識者や団体関係者、公募市民)が
主催しているものです。
※市民推進会議で発行している広報誌「みどりアップQ」で
「みどりアップを見に行こうツアー」が掲載されていたものです。

鶴見土木からのお知らせ

平成31年度に向けて公園愛護会の皆様へ以下のご連絡があります。

- ① 「物品申込書」・「技術支援申込書」を2月1日までにご提出ください。
- ② 「公園愛護会マニュアル」を平成28年度に改定しています。50ページになる冊子です。鶴見土木事務所では公園愛護会向けに印刷物としてご用意しています。希望される方は鶴見土木事務所まで受け取り下さい。

Vol. 28 2018 冬

発行年月日 2018. 12. 1
発行者 鶴見土木事務所 下水道・公園係
公園愛護会担当 河野

鶴見土木事務所 所在地

〒230-0051
横浜市鶴見区鶴見中央3-28-1
TEL 045 (510) 1673~1674